差出申引請一札之事

一今般諸荷物駿州横往還通馬附之儀、引請申度御荷主方江申入候処、御得心被下忝存候、然ル上ハ荷物取賄之儀、継々問屋互ニ改入念荷物麁末無之様、猶亦陸地之儀ニ候得ハ、日数等凡之定も見積有之候間、其余之延着無之様継立可申候、且荷物抜痛汚等之儀ハ、先々より請取候節篤と相改、縄目封印等怪敷荷物ハ附来候馬士為立合改、先々穿鑿いたし弁金致筋ニ候ハハ弁金請取、其訳送リ状江相認差送可申候、万一荷物紛失いたし候共、右代金弁金可致候、依而御対談年季通ハ如何様之儀御座候とも、荷物御継送可被下候、為後日引請一札継問屋連印を以入置申処、聊違変無之候、仍如件、

文政七申年二月

五軒浜問屋
八十八印
新浜問屋
丈右衛門印
大宮連尺町問屋
藤右衛門印
上井出村問屋
勇右衛門印
本栖村同
仁左衛門印
古関村同
仙右衛門印